

主な質疑応答

回答者

磯貝 和俊 執行役 リテール・事業法人カンパニー長

米澤 武史 執行役 グループ CFO 兼 国際会計基準対応 PT 長

Q: バリュエーション算出にあたっての考え方

A: バリュエーションの算出にあたっては、楽天証券のスタンドアローンの企業価値に加えて、シナジー効果・今後の収益・コストを考慮している。その際には、外部環境はダウンサイドを含めたさまざまなシミュレーションを実施の上、関係者と認識をすりあわせるとともに、シナジーの効果については、相当保守的に見積もっており、十分に投資採算目線がとれるとして、今回の水準に至っている。なお、独立した第三者評価機関の評価も踏まえ、その時点における状況にあわせ、公平かつ妥当な評価での取引を行っていると考えている。

Q. のれんの償却を考慮した今後のボトムラインへの影響

A: のれんの計上は最大 400 億円強。今後、監査法人との調整を経て、この金額の一部は無形資産に割り振られる。のれんの償却を考慮しても、持分収益の黒字化については、数年以内に十分達成可能と確信している。また投資採算性として、資本コストを踏まえた ROE 目線については、今回の中計期間は多少はみ出るが、少なくとも次の中計期間にて達成可能と考えている。

Q みずほ銀行と楽天証券との連携の内容について

A: 今回の中計でも、みずほ銀行を中心とした「顧客基盤の拡大」を掲げているが、例えば、楽天証券のお客さまに、決済を始めとするみずほ銀行のサービスを提供する、もしくはみずほ銀行のお客さまに、楽天グループのサービスをご利用いただくことで、お互いのお客さまに利便性・利得性を感じていただき、結果的に、みずほ銀行の顧客基盤の拡大に繋がると考えている。その他、資産形成やデジタル証券の分野でも、お客さまのニーズに合うよう、選んでいただけるように取り組んでいきたい。銀行・証券一体でさまざまな連携ができると考えている。

Q. 22 年 11 月に投資した後の連携の進捗状況について

A: 昨年の投資以降もさまざまな形で連携が進んでいる。例えば、みずほ証券が主幹事の個人向け社債への楽天証券の参画や、みずほ証券の公式 YouTube 動画のコンテンツの共同制作など。更に、今年 10 月には、みずほ銀行と楽天証券の金融仲介契約によるサービスを開始している。更に対面相談ニーズへの対応として、共同事業化をして新会社を設立する予定。

Q 追加出資することによる、新たな連携について

A: 従前以上に、共同での取組みを増やすことができると考えている。例えば、決済分野でのシームレスな結びつき、楽天証券の優れた UI/UX のデジタルチャネルを通じた資産形成サービスや、〈みずほ〉の対面チャネルのコンサルティングの利便性の提供など、お客さまのニーズに合わせて、サービスを選択できる環境をお互いに整えていくことができるようになる。お客さまのご了承をいただけるのであれば、お客さまニーズも共有して、共同商品の開発なども行っていきたい。

Q. 過半数の出資ではない背景

A: 楽天グループの連結子会社として、楽天経済圏を基軸とした事業を進めることにより、楽天証券としての既存の強みを発揮できると認識しているため、みずほ証券 49%、楽天証券ホールディングス 51%という出資比率となった。

Q. 現時点での役員の派遣

A: 現在も、みずほ証券から楽天証券に非常勤の取締役 1 名を派遣しているが、今回の追加出資に伴い、取締役を追加で 1 名、新たに監査役を 1 名派遣することを想定。

Q. 23 年 6 月の IR Day で中計のリテール部門の利益ドライバーのうち、アライアンスによる収益+250 億円に加え、持分法関連収益の改善という説明があったが、本件は含んでいる

A: IR Day でご説明した利益ドライバーには本件収益は含まれていない。今回の出資によるシナジー効果は想定しているものの、長い時間軸の中でお客さまに対するサービスをしっかりと提供していくことを主眼としている。

Q: 楽天証券の手数料ゼロという経営判断や、将来的な収益計画の策定に〈みずほ〉はどの程度関与したのか

A: 楽天証券の手数料ゼロという経営判断や将来計画の策定には関与していない。なお、バリュエーションの算出にあたって、楽天証券が策定された収益計画を前提にしているが、こちらも十分な下方ストレスを踏まえて検証をしている

Q: なぜ、楽天グループの他のエンティティではなく、楽天証券への出資なのか

A: 今回の提携の最大の目的は、〈みずほ〉の課題であるデジタル証券の強化。資産形成層・若年層へのリーチがこの環境下において必須と考えており、デジタル証券の二強の一角である楽天証券と協業ができることによって、将来のお客さまを取り込んでいくことができると考えている。

以上